



令和6年11月29日第8号
江戸川区立下鎌田小学校
校長 黒澤 義和

思いのこもった運動会!

副校長 山本 秀樹

先日は運動会のご参観、ありがとうございました。事後のアンケートでは表現種目や児童の頑張りについて、温かい言葉をたくさんいただきました。今回の運動会では、児童鑑賞日の保護者参観や、第二校庭の駐輪場としての活用等、昨年度いただいた要望について、校内での反省も活かしながら計画しました。これらは、学校職員だけで実施することは難しいため、今年7月に発足した本校PTA本部やボランティアの方々の力をお借りして実現することができました。お手伝いくださった皆様には、重ねて感謝申し上げます。運動会では、今年も児童の素敵な姿をたくさん見ることができました。子供たちの運動会にかける思いもとても強く、特にはっきり表れたのは1日目の運動会開始前のことでした。朝方まで続いた雨により、校庭のそこかしこにぬかるみや水たまりができていました。予報では、午前中には雨が上がり温かくなるとのことでしたので、朝のうちに教職員で雑巾や布を使って水を抜きました。ところが登校の時間になるとまたしても雨が降り始めました。そこで大活躍してくれたのが6年生です。全校からバケツを集め、雑巾を持って校庭に出ると、校庭の水を丁寧に吸い出してくれました。最後には5年生も加わり、写真のような状態になりました。「雑巾に水を吸わせる、絞る」を何度も何度も繰り返す大変な作業でしたが、どの子も一生懸命な姿に、運動会前から心が温かくなりました。



その後、「今日の運動会、実施します」という校内放送で、校舎全体から「やったあ!」「イエーイ!」と大歓声が起こりました。およそ1時間半遅れて始まった開会式。一部の競技を減らしたり、順番を入れかえたりと予定外のことが多かったですが、子供たちの思いのこもった運動会、他の学年を全力で応援し、自分の競技にも真剣に取り組む児童の姿はとても素敵でした。保護者の皆様には運動会に向けて体調管理や弁当の準備等たくさんのご協力をいただき、子供たちも充実感をもって2日間の運動会を終えることができました。本当にありがとうございました。話は少し変わりますが、4月にお伝えした「下鎌田小学校の教育」では、【体力・健康力向上】を目標の1つにしています。先日児童を通して個票を配布した体力テストでは、本校は全96項目中60項目以上(昨年度は56項目)が東京都の平均を上回っており、児童の平均的な体力が高まっていることが分かりました。と同時に、「持久力(20m シャトルラン)」に課題があることも判明しました。持久力を高めるには、校庭に出て鬼ごっこなどで走り回ること等が効果的ですが、今回の運動会のように目標に向かってたくさん運動することでも自然と体力が向上します。児童は3週間の練習期間中、毎日校庭や体育館で自分たちの表現種目の練習に取り組みました。疲れている時もあったと思いますが、どの子も自分なりの目標をもって取り組み、体力を高めることができました。

11月の下旬には今年度第2回目の「なわとび Week」があり、児童はそれぞれの目標に向かって休み時間に短なわや長なわに取り組みました。特に3年生は運動会でやった表現を思い出しながら、嬉々として取り組んでいました。そして12月からはマラソントイムが始まります。こちらは1月の持久走大会が目標になります。子供たちには、これからも、「自分はこうなりたい」「これができるようになりたい」と目標をもって取り組むことを通して、持久力だけでなく、将来に向けて先を見通し、努力する力を付けて欲しいと願っています。

2学期も残すところあと1か月を切りました。感染症も流行の兆しを見せ始めています。保護者の皆様には、引き続き子供たちの体調管理をはじめ、教育活動へのご理解ご協力をお願いいたします。